

3/19に38名の6年生が養正小から巣立ちました。それぞれの保護者の方、全校の保護者のみなさん・地域の皆さんのお支えあつての小学校の課程の修了です。心より感謝申し上げます。



進級と春休み

“年を取るほどに1年がたつのは早い”とよく言います。年齢にかかわらず365日は同じですからそんなはずはないのですが、ある心理学者の人がこんなふうに言っていました。「人はそれまでの人生の様々な経験が記憶にあり、無意識にそれと対比するので、年をとるほどに1年は相対的に短く感じる」。たしかに1年生の子の1年間は7分の1ですが、私は58歳ですから1年間は58分の1にしかあたりません。(記憶に残らない乳児期もカウントして)。

一人ひとり子どもたちはこの1年間をどう感じたでしょうか。学びが充実し成長の1年間だったでしょうか。私たちは、そのような機会を与え促すことができた1年間であったか、しっかり見つめ直しをして次年度につなげていきたいと思ひます。

春休みはどうしても心が浮き立つ時期です。ぜひ交通事故や事件・トラブル等に気をつけてすごさせてください。新1年生も含めた270名(予定)が元気に顔をそろえて4月8日のスタートをきってくれることを願っています。卒業生や年度末で転出する子たちも新しい学校でのスムーズなスタートを願っています。

新1年生について、説明会では通常学級34名特別支援学級2名とお知らせしましたが、通常学級に2名の転入があり、36名となり2クラスとなります。(国の基準は1年生のみ35人学級)

年間行事予定について

前号に“3月上旬に仮の年間計画を配る”と書きましたが、PTA 関連行事・他団体の行事に確定できていない部分がいくつかあり、それと連動する日程調整も流動的な面があり、まだ配布をさせていただくにはいたっていません。申し訳ありません。必要なことがあれば、お尋ねください。

いちおう確定している大きい行事については、以下のとおりです。参考にしてください。(4月初めには確定済みの年間行事予定をお配りします。)

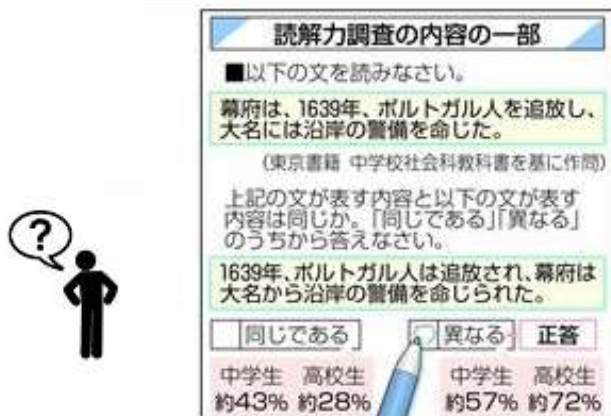
- 4/16.17.22.23 (火水.月.火) 家庭訪問
- 5/11 (土) 授業参観・学級懇談会・PTA
総会
- 5/14.15 (火水) 修学旅行
- 5/25 (土) 体振体育大会(土曜活動)
- 5/27 (月) 5/11分の振替休日
- 6/2 (日) 子ども会球技大会
- 7/22.23 (月.火) 5年生キャンプ
- 8/25 (日) PTA 環境整備作業
- 9/21 (土) 運動会 振替休日 9/24
- 9/29 (日) 橋内地区PTA 球技大会
- 10/25 (金) 授業参観・懇談会
- 11/9 (土) 養正学習発表会(土曜授業)
- 11/24 (日) ふれあい行事
- 11/25 (月) 11/9の分の振替休日
- 2/21 (金) 6年生を送る会

※卒業式は新年度になってから市全体で決定

ウラ面あり

読解力について

1年余前に、国立情報学研究所というところの調査結果が出されました。そのひとつに次のような結果がありました。



読解力調査の内容の一部

■以下の文を読みなさい。

幕府は、1639年、ポルトガル人を追放し、大名には沿岸の警備を命じた。

(東京書籍 中学校社会科教科書を基に作成)

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

1639年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた。

同じである	異なる	正答	
中学生 約43%	高校生 約28%	中学生 約57%	高校生 約72%

幕府が大名に命じているのか、大名が幕府に命じているのかで違う意味の文ですが、これが同じ内容であると誤る中学生が約43%あるということです。もちろんうっかりミスもあるかと思いますが、この数字はうっかりではすませられない数字だと思います。(もともと中学社会科教師である私は、読解力の問題とともに、小中の社会科できちんと学習していたら“大名が幕府に命じる”というのにはありえないやろという面も気になるんですが...)

文を読み取るのは、学習や試験ばかりでなく、働く中でのマニュアルや指示の読み取り、資格の取得、その他生活していく中で様々な読み取りが必要です。それは紙の上でもPCやスマホの画面上でも同様です。また新学習指導要領では対話的な学習も大きなテーマですが、話を聴くことも文の読み取りです。国語の教材でも、以前より説明文の読み取りが増えてきています。学校でも家庭でも地道に文章を読み親しむことが大切だと思います。授業の中でも、落ち着いて教材に向き合うことを今以上に大切にしたいと思います。



道徳の評価について

新学習指導要領に先行して、「特別の教科道徳」になり評価もすることになりました。本校は、通年で評価をすることにしましたが、特にこの題材によって大きく考えが伸びた、あるいは節目となったというところに注目した評価としています。

卒業証書



タイトル・本文・日付・学校名校長名・校印職印などを印刷した用紙が市教委から支給されます。児童名・誕生日・番号の部分について、一昨年度までは、毛筆が堪能な校長は自筆で、そんなことはできない私のような校長は、人に依頼して書いてもらっていました。本年度の卒業生からは、市内全小中学校が「校務支援システム」の卒業証書作成機能を使ってプリンターで打ち出すことになりました。(昨年度から試行) 戸籍等で特殊な字体はシステム運営の会社に依頼してその字体を作ってもらいます。

なお、通常の字体であっても使用できるフォントの都合上、ふだん保護者の方が習慣的に書いてみえる字の形・バランスとは微妙に違う場合もあることをご了解ください。

※今回、証書の発番は第7966号までできました。

ただしこの番号は、戦時中に国民学校になっていたんリセットとなり、再び1947年に小学校にもどり再リセットしてからの約70年分です。来年度の6年生の中に第8000号が登場します。



本年度の1年間、保護者の皆様・地域の皆様からいただいた多大のご理解・ご支援に心より感謝いたします。 職員一同

